

天草家保通信平成27年3月号

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
 電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393
 ホームページアドレス http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_9513.html
 電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



牛アルボウイルス（異常産関連ウイルス）について

アルボウイルスとはヌカカなどの吸血昆虫が媒介するウイルスの総称で、妊娠牛が感染するとアカバネ病などの体型異常を伴う異常産等を引き起こします。サーベイランスの一環として、全国的に牛アルボウイルスの動向を調査しており、熊本県でも発生を予察するため抗体保有状況を調査しています。

天草家保管内では、5戸16頭の子牛について、6、8、9、11月の計4回、延べ64頭、熊本県全体では、約20戸、延べ320頭について検査を実施し、2月に平成26年度の最終的な結果が出ましたのでその成績をご紹介します。

●検査項目

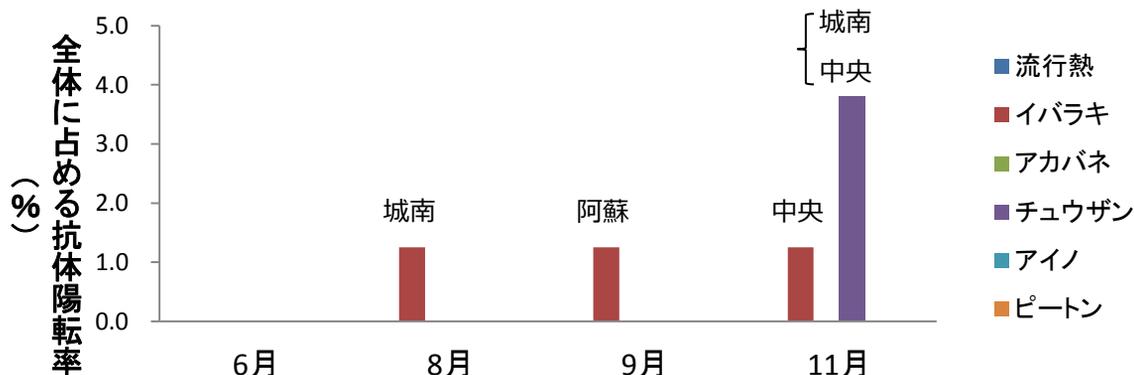
牛流行熱、アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症、イバラキ病、ピートンウイルス感染症

●検査成績

熊本県全体では下の図のとおり、**イバラキ病**が8月に城南家保管内で1頭、9月に阿蘇家保管内で1頭、11月には中央家保管内で野外感染が疑われました。また、**チュウザン病**は11月に中央家保管内で1頭、城南家保管内で2頭の野外感染が疑われましたので、今後、異常産に対する注意が必要と考えられました。

天草家保管内では、野外感染を疑うような抗体の動きは見られませんでした。昨年度は管内で**アカバネ病**が発生していることから、今後も母牛へ異常産3種混合不活化ワクチンを接種し、農場をはじめ地域全体で抗体保有率を高めて、ウイルスの侵入や増殖を抑えていくことが最も重要（効果的）です。

アルボウイルス野外抗体陽転時期



通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
 天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668

病性鑑定実施状況

		乳用牛	肉用牛	豚	鶏	その他	合計	
主	突然死	0	7	1	2	0	10	
	下痢症	0	14	3	2	0	19	
	うち伝染性下痢症	0	10	2	2	0	14	
	呼吸器病	0	1	0	0	0	1	
	うち伝染性呼吸器病	0	0	0	0	0	0	
微	発育障害	0	1	0	0	0	1	
	その他	BLV	0	23	0	0	0	23
		異常産	0	0	1	0	0	1
		神経症状	0	1	0	0	0	1
		その他	0	5	2	1	0	8
		血液検査	0	14	0	0	1	15
	小計	0	66	7	5	1	79	

平成26年4月～27年1月末までの集計

平成26年度に天草家保で実施した病性鑑定の実施状況（H27年1月末現在）は左記のとおりです。畜種別では肉用牛が66件（83%）で最も割合が高く、症状別では牛白血病が23件、続いて下痢および血液検査（生化学検査）が各14件の順となっています。

肉用牛の突然死7件のうち、子牛分娩後の管理失宜によると思われるものが3件（**臍帯（さいたい）炎が2件、第1胃食滞が1件**）ありました。

分娩時に出来る臍部異常の対策としては、

- ①分娩房を清潔な状態に保ち、乾燥した敷料を十分用意する
- ②出生時にはへその先を洗浄、消毒
- ③へそが短く切れて腹部が汚れていた場合は敷料がへその中に入らないように気をつけながらヨード剤で消毒
- ④初乳を十分飲んでしているか観察し、飲んでいないなら人工哺乳や初乳製剤を検討

等が挙げられます。実施できていますか？

対策をしていない農場にとっては余計な作業かも知れませんが、病気になってからを考えれば、ずっと簡単で効果的です。

日頃から飼養管理に失宜は無いか見直し、元気な子牛生産に努めましょう。



（左図）化膿した臍（へそ）
（右図）左図の腹壁を切開したところ

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	韓国	継続発生中	牛、豚	O
	韓国	継続発生中	家きん	H5N8
高病原性 鳥インフルエンザ	中国	2月4日	ベンガルトラ	H5N1
		2月2日	家きん	H5N6
	台湾	1月19日～2月19日	家きん	H5N2
		1月13日～2月18日	家きん	H5N8
		1月30日～2月1日、2月19日	家きん	H5N3

3月4日現在

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

